



大倉秀夫 議員
(白新会)

問 里団地付近の水路の
浚渫と蓋架け

小久喜里団地の杉本医院東側水路、児玉医院の北側および西側水路、みさわや酒店西側水路などは悪臭が強くて困っている。水路に蓋を架ければ悪臭の防止と狭い道路が歩道として活用できると思うが、ヘドロなどの浚渫と歩道整備の計画について伺う。

答 良好な環境の保全に
努めていく

団地内道路は一定の幅員が確保され、交通量も少ないため歩道整備の計画はない状況である。将来、雨水幹線の整備が具体化することで、滞水状況の改善が期待され、悪臭防止にも寄与できる。今後も堆積状況により浚渫を実施し、良好な環境の保全に努めていく。

問 こもれびの森駐車場の
確保を

今年 10 月には「こもれびの森」が開館予定だが、成人式を始め多くのイベントなどの活用が予想される。現在、市役所および周辺施設での利用可能な駐車台数は。今後、周辺施設でイベントが重なると駐車場不足も考えられる。近辺に私有地売地もあるが市の計画は。

答 周辺公共施設の駐車場で
賄っていく

現時点での周辺公共施設の駐車可能台数は 525 台で、こもれびの森駐車場の 125 台の合計 650 台で賄っていく。イベントが重なる場合は、開催時期の調整を図るとともに、将来的に不足が見込まれる場合には、必要な駐車場用地の確保などを考えていく。



江原浩之議員
(隼人)

問 小学校の英語教育は

新学習指導要領完全実施に向け移行期間に入っているが、小学校の英語教育の現状については。また、教諭の指導力向上について、どのように取り組んでいるのか。次に、授業時数が増加することになる。完全実施に向けて、授業時間確保の方針については。

答 新学習指導要領の実施
に向け準備を行う

本年度から小学校外国語の時数を増加し、1校は新学習指導要領と同じ時数で先行実施している。教諭の指導力向上のため、外部専門機関の指導を仰ぐほか、教育委員会でも研修会を実施する。先行実施の学校での取組などを参考に完全実施に向け準備を進める。

問 市と県立白岡高等学校との
連携は

白岡高校は、昭和52年開校以来42年目を迎えている。市の地域活動など、白岡高校との状況は。次に、市は高校の社会貢献が、まちづくりや地域の活性化に大きく寄与している。白岡高校とまちづくりを、今後どのように連携を強化していくのか。

答 生きた学びとまちづくり
につなげていく

白岡高校の生徒に白岡こども・ゆめ・みらいプロジェクトなどに参画してもらい若者の視点、アイデアを取り入れて事業を実施している。今後も Win - Win な関係を構築し、生徒には実社会からの生きた学びに、市はより良いまちづくりにつなげていきたい。

